

あげお

あなたにほんきをおくるまふ



上尾市

主な内容

市長の提案説明	2～3ページ
委員会の主な審査内容、討論	3～6ページ
提出議案とその結果	7ページ
各委員会行政視察報告	8～9ページ
市政に対する一般質問	10～15ページ
請願の結果	14ページ
今議会で決まった人事	15ページ
委員会活動、意見書	16ページ

議会 だより

今年の「あげお子ども議会」は、8月8日(水)午後2時から開催します。その内容は、市ホームページ(<http://www.city.ageo.lg.jp/>)にて、映像(ライブ・録画)でご覧いただけます。



あげお子ども議会(昨年の様子)

平成 24 年 6 月定例会日程

- 6月6日 …… 開会、議案の上程、提出議案の説明、提出議案に対する質疑、委員会付託
- 6月8日 …… 総務・建設水道消防常任委員会
- 6月11日 …… 文教経済・福祉常任委員会
- 6月13日 …… 一般質問
- 6月14日 …… 一般質問
- 6月15日 …… 一般質問
- 6月18日 …… 一般質問
- 6月22日 …… 委員長報告、討論、採決、特別委員会の設置、議員提出議案の上程、採決、閉会

第160号

平成24年(2012)
8月号

発行/上尾市議会
編集/議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
電話048-775-9467

6 月 定 例 会

食品放射能測定体制の強化・充実を図り

一般会計補正予算など20議案を可決



6月定例会最終日採決の様子

6月定例会で審議した議案は、市長提出議案および諮問が15件、議員提出議案8件の計23件で、うち20件を原案のとおり可決・承認・同意・異議なき旨答申し、2件を否決し、1件を継続審査としました。

市長の提案説明から

○上尾市一般会計補正予算

今回の補正予算については、市民の安心を確保する観点から、食品放射能測定体制の強化・充実を図るほか、当初予算編成後の状況の変化を踏まえ編成した。その結果、補正額は2039万2000円となり、累計予算額は562億3039万2000円となったところである。

〈主な事業〉

衛生費の「放射能測定器整備事業」については、食の安全に対する市民の関心が、より一層高まっている現状を踏まえ、消費者庁による放射能測定器無償貸与制度を利用して、食品放射能測定器を現

在の1台から2台体制に強化し、家庭菜園の農作物や家庭で調理された食事の検査など、新たに一般家庭向けの検査を実施することで、市民の安心確保を図るものがある。測定器2台を稼働するため市役所第三別館に、新たに「食品放射能測定室」を整備する。

総務費の「一般コミュニティ助成事業」については、「財団法人自治総合センターコミュニティ助成金」の交付が決定し、教育費の

「地域と連携した体力向上支援事業」については、県からの委託が決定したことを受け、それぞれ事業を実施するための経費を計上した。

○条例その他

上尾市印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例の制定については、外国人登録法の廃止および住民基本台帳法の一部改正に伴い、関係条例について改正したいので提案する。

上尾市税条例及び上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定については、地方税法の

一部改正に伴い、退職所得にかかるとる市民税所得割額の10分の1の額を控除する特例規定を廃止し、市民税と国民健康保険税の所得割額

の算定に関し、東日本大震災の被災居住用財産にかかる特例規定を整備したいので提案する。

上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定については、公務災害補償の基準となる政令の一部改正に伴い、介護補償の額および学校医等に対する休業補償などの算定の基礎となる補償基礎額を改定したいので提案する。

上尾市民体育館条例の一部を改正する条例の制定については、上尾市民体育館の設置目的を効果的に達成するため、その管理を指定管理者に行わせるものとしてたいので提案する。

上尾市介護予防事業手数料条例の一部を改正する条例の制定については、介護予防事業の対象者について、その呼称を改めたいので提案する。

上尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定については、危険物の規制に関する政令の一部改正に伴い、炭酸ナトリウム過酸化水素付加物が危険物の品名に追加されたことによる特例を定めたいので提案する。

中央小学校校舎改築工事、(仮)

東保健センター建設工事、上尾駅東口ペDESTロリアンデッキ延伸工事
に関しては、それぞれ工事請負契約を締結するため、定めるところにより提案する。

専決処分の承認を求めることについては、地方税法および国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律およびその関係政省令が平成24年3月31日に公布されたことに伴い、緊急に上尾市税条例を改正する必要があること、同日、上尾市税条例の一部を改正する条例を専決処分したので、定めるところにより提案する。

埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更については、外国人登録法の廃止および住民基本台帳法の一部改正に伴い、埼玉県後期高齢者医療広域連合規約を変更することについて協議したいので、定めるところにより提案する。

委員会審査から

総務、文教経済、建設水道消防、福祉の各常任委員会は、付託された議案の審査および調査を行いました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

条例制定
市税条例・国保税条例
の一部を改正

〈メモ〉地方税法の一部改正に伴い、退職所得にかかる市民税所得割額の10分の1の控除を廃止し、東日本大震災にかかる被災居住用財産の特例規定を整備するもの。

委員 退職所得の10%控除廃止について、なぜ昭和42年から続いていたものが、今、廃止されるのか伺いたい。

答 退職所得は、昭和42年に、翌年度課税から現年課税となった。これに伴い、納税時期が1年早まったため、税額の利息相当分を安くする当分の措置として10%控除が導入された。しかし、現在では、ほぼゼロ金利が続いており、見直しもされないまま今日に至った経緯があることから、今回廃止するものである。

補正予算
みこし修繕など自治会への
助成費用を計上

〈メモ〉宝くじの社会貢献広報事業の一環として地域のコミュニティ活動の充実強化を図るため、コミュニティ活動備品の整備など

に対して助成を行うもの。

委員 110を超える事務区がある中、採択されたのは3つの事務区であるが、他の事務区にも周知されているのか、順番待ちの状況はあるのか伺いたい。

答 周知方法は、区長会連合会などで説明している。申請は順番待ちという状況ではない。昨年は2件の申請があり、今回は4件の申請で、3件が採択された。

文教経済常任委員会

補正予算
地域と連携した体力向上
支援事業費用を計上

〈メモ〉本事業は、学校と地域が連携し児童・生徒の体力向上を図ることを目的とした国の委託事業である。平成22年度から採択されており、平成23年度は、地域の実業団バレーボールチーム・上尾メディックスによるバレーボール教室や小・中学校体育連盟スポーツ推進委員によるなわとび大会などを実施している。

委員 市は、今後本事業をどのような形で進めていくのか、また国からの補助がなくなった場合の事業の実施について、どのように考えているか伺いたい。

答 地域連携の中で実施しているバレーボール教室、ランニング教室、なわとび大会、ドッジボール大会などは継続して実施することを考えている。

この事業は、児童・生徒の体力向上につながるものであり、国からの補助がなくなった場合においても、継続を考えている。



上尾メディックスによるバレーボール教室

契約締結
**中央小学校校舎の
改築工事**

〈メモ〉 中央小学校の校舎改築工事の工事請負契約を締結。

委員 教室の様子は、富士見小学校のようなオープン教室であるが、多動性や落ち着きのない子が歩いて授業が成り立たなくなる

**「県立小児医療センターの移転について」
全員協議会を開催**

6月6日、本会議終了後に全員協議会が開催されました。

埼玉県立小児医療センターの移転について、埼玉県から企画財政部新都心医療拠点企画室、病院局経営監理課、保健医療部医療整備課の職員が出席し、現在の状況などを市議会議員に説明しました。

のではないかと心配である。そのような場合の対応について伺いたい。

答 アップピースマイルサポート（旧上尾市学級支援員）による対応が考えられる。

委員 オープン教室のメリットについて伺いたい。

答 オープン教室にした富士見小学校では、廊下部分まで教室として使えるため、活動スペースが広がり、グループ活動がしやすくなった。また、隣の教室の音も思ったほど気にならず、子どもたちには静かに聞き取る

うとする態度が表れ、授業に対する集中力がついてきた。休み時間には、他のクラスの子ともたちとの交流が増え、授業中、他のクラスの前を通るときには、授業の邪魔にならないようにするなど気遣いも表れてきている。



オープン教室（富士見小学校）

福祉常任委員会

契約締結
**（仮）東保健センターの
建設工事**

〈メモ〉（仮）東保健センター建設工事（建築工事）に関する工事請負契約を締結するもの。

委員 契約金額は、4億4730万円であるが、当初予算額はいくらか。また、設計について、医

師会や保健センター利用者の声は反映されているか伺いたい。

答 工事請負費における建築工事の当初予算額は、4億9780万円である。また、設計については、上尾市医師会、埼玉県北足立歯科医師会上尾支部、上尾市薬剤師会、上尾市母子愛育会、上尾市食生活改善推進員協議会をそれぞれ代表する人、関係行政機関の職員、地域保健に関し学識を経験する人の合計7名で、平成23年5月から24年2月にかけて、延べ5回の建設検討委員会を開催した。その中で、母子保健を中心とした母子に優しい施設づくりを目指すほか、平日夜間及び休日急患診療所を併設し、初期救急医療施設として充実させ、災害時や感染症等の流行時にも対応可能とした。

規約変更
**県後期高齢者医療広域
連合規約を変更**

〈メモ〉 外国人登録法の廃止および住民基本台帳法の一部改正に伴い、埼玉県後期高齢者医療広域連合規約を変更するもの。

委員 住民基本台帳法の一部改正とは、どのような内容か伺いたい。
答 この規約変更は、外国人が住民基本台帳に登録されることに

関係がある。今まで、外国人に
しては、在留期間が1年を超える
者については、後期高齢者医療制
度の対象としていたが、改正後は、
3カ月を超えて在留する者を、本
制度の対象とするものである。

建設水道消防常任委員会

**契約締結
上尾駅東口ペDESTロ
リ
アンデッキの延伸工事**

（メモ）JR上尾駅東口ペDEST
ロリアンデッキ延伸工事の工事請
負契約を締結。

委員 JR上尾駅東口ペDEST
ロアンデッキ延伸工事は、難易度
が高く位置付けられているが、ど
のように高いのか伺いたい。

答 図面をもとに工場で作成し
た橋桁を現場に搬入して架設する
工事で、一般の土木工事とは性質
が異なることから高い難易度に位
置付けた。

委員 ペDESTロリアンデッキの
延伸工事が完了した後の管理は、
どこで行うのか伺いたい。

答 延伸工事の完了後は、道路
管理課に引き継ぎ管理していくこ
とになる。

委員 手すりなどの安全面はど
のようになっているのか伺いたい。

答 安全面については、最新の
基準に従って設計している。手す
りは、1メートル10センチの高欄
を設置する。



JR上尾駅東口ペDESTロリアンデッキ

**条例制正
上尾市火災予防条例
の一部を改正**

（メモ）危険物の規制に関する
政令の一部改正に伴い、炭酸ナト
リウム過酸化水素付加物が危険物
の品名に追加されたことによる特
例を定めるもの。

委員 新危険物として追加され
た炭酸ナトリウム過酸化水素付加
物を取り扱っている業者や施設が
市内にあるか伺いたい。

答 新危険物は、漂白剤や洗浄
剤などの成分に含まれており、工

場や流通倉庫などで貯蔵されるこ
とや取り扱われることが考えられ
るが、工場においては、本年1月
から実施した立ち入り検査では取
り扱いの報告はない。クリーニング
関係の事業所においては3事業所
で、また洗剤等の卸売業者では2
事業所で、新危険物に該当すると
思われる漂白剤や洗浄剤を貯蔵ま
たは取り扱いをしている。現在、
規制対象の危険物に該当するかを
調査しているところである。

**市長提出議案に
対する反対討論**

要旨

上尾市税条例及び上尾市国民健
康保険税条例の一部を改正する条
例の制定について、「退職所得に
係る所得割額の10%税額控除の特
例措置の廃止」は、金利の下落を
理由としているが、金利が下がっ
た時期を考えると整合性がない。
また、退職金は老後の生活を支え
る大切な資金であり、特例措置を
廃止する本議案に反対する。

**上尾市民体育館条例の一部を改
正する条例の制定について**、指定
管理者の導入は、市民の税金でつ
くった財産を民間に管理・運営を
任せ、上尾市のスポーツ振興の歩
みを緩めるもので、スポーツ都市

「にんにはは県議会です」



県議会マスコット「ホッポ」

テレビ埼玉 日曜日 午前10時～10時15分

県議会の各定例会の様子が各会派の考え方など、県議会
に関するさまざまな情報をタイムリーに放送しています。
すてきな賞品の当たるプレゼントコーナーもあります。
※詳しい放送スケジュールは、埼玉県議会ホームページを
ご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/>

宣言の精神に反するものである。
また利用料金の値上げや高齢者の
利用料金サービスがでないなど、負
担増につながり、サービス向上に
なると思えない。

市民体育館は、災害時に西側の
防災対策本部となるので、防災計
画の見直しを見据えたうえで、提
案が必要であると考えることから
本議案に反対する。

工事請負契約の締結について、
最低制限価格を設定した本件入札
は4社中2社が失格となり、駅の

改修をした建設業者とマンション建設業者での入札となった。これが適正な結果とは思えない。また、今後の入札において、最低制限価格が高額なため、地元業者が入れないようなやり方には問題がある。マンション管理業者に1円も受益者負担をさせず、ペDESTリアンデッキを再開発ビルに直結させる理由も合理性を欠くことから、本議案に反対する。

専決処分の承認を求めることについて、今回の改正により、今年5月1日現在で、固定資産税では約2万4900人に影響があり、市全体では、およそ3500万円の負担増となる見込みである。また、都市計画税では約3900人に影響があり、市全体では、およそ200万円の負担増となる見込みである。市民の暮らしが厳しくなる中での負担増となることから本議案に反対する。

請願に対する賛成討論

要旨

埼玉県立小児医療センターに関する意見書の提出を求める請願について、「患者家族との話し合いを重視し、密に連携を」「アンケート調査結果を踏まえ検討過程を

きちんと公表すること」の2つの願いに、市議会として応えていくことは、上尾で子育てをしているお母さん、お父さんを励ますものである。この請願に賛成する。

消費税増税の反対に関する請願、消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願について、現在、政府は消費税増税を強行しようとしているが、世論調査では、消費税増税反対が6割に上っている。消費税が10%になれば、一世帯平均で16万円の負担増になり、「暮らしていけない」「商売をやめるしかない、増税倒産だ」と悲痛な声が高まっている。雇用不安、貧困と格差が広がる中、消費税は、所得が少ない人ほど、負担が重い弱い者いじめの税金である。年金制度改悪や、医療費の負担増など、社会保障は年々悪くなる一方である。今、増税を行えば、やっとな復興が始まった被災地をはじめ、国民の消費はますます冷え込み、全国経済は大打撃をうけることとなる。日本でも、法人税率の見直しや、不要不急の大型公共事業を見直し、大企業・高額所得者に応分の負担をもとめることで財政再建をすれば、消費税増税をする必要はないので、この請願に賛成する。

議第9号議案

「上尾市歯科口腔保健の推進に関する条例の制定について」

矢部勝巳議員から議第9号議案が提出され、福祉常任委員会に付託されました。審査の中で、継続審査の動議が提出され、採決の結果、賛成6名、反対1名で継続審査となりました。

提案説明から

国では、平成23年8月に法律が施行され、県でも同年10月に条例が施行されている。市においても歯科口腔保健の推進について基本となる理念を定め、市民、事業者等の責務を明らかにし、市民の生涯にわたる健康の保持増進に寄与したいので、この案を提案する。

委員会審査から

委員会では、専門的知識を有する立場から意見を求めるために参考人と、提出者として説明を求めするために委員外議員が出席した。

委員 埼玉県条例では児童・生徒の虫歯予防の観点から、フッ化物の応用を記載しているが、本条例案にない理由について伺いたい。

答 フッ素とフッ化物という化学物質は、「有毒ではないか」と

いうことで、懸念されている向きもある。そのようなことから、上尾市の場合は、広い意味で歯科疾患の予防、歯科口腔保健という形でとらえ、その中にフッ化物応用も含まれると考えていただきたい。

委員 本条例案の検討過程で、計5回の打ち合わせを行ったとのことだが、各条文において、どのような内容の議論がされたのか。

答 条文を一つ一つ精査したというよりも、多くの人の賛同を得られるように、総合的に検討した。

賛成討論

要旨

(継続審査に対する賛成討論)

歯科口腔の健康が、体全体の健康にも関わっているという点において異論はないが、今回、条例を採決するには、調査や研究が不十分である。歯科医師のもとに足を運び、要望を伺うなど、上尾市の現状をしっかりと調査し、課題を明確にすること、実効性のあるものにする、計画作成を市に求めることなどが不可欠であると考え、継続審査に賛成する。

平成 24 年 6 月定例会提出議案とその結果

◎市長提出議案（15 件）

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	市民ク	新政	公明	友愛	共産	無所属	無会派
議案第 36 号	平成 24 年度上尾市一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 37 号	上尾市印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 38 号	上尾市税条例及び上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	△	○
議案第 39 号	上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 40 号	上尾市民体育館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	×	×	○
議案第 41 号	上尾市介護予防事業手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 42 号	上尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 43 号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 44 号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 45 号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	×	×	○
議案第 46 号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	×	△	○
議案第 47 号	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 48 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○
諮問第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき 旨答申	○	○	○	○	○	○	○
諮問第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき 旨答申	○	○	○	○	○	○	○

◎議員提出議案（8 件）

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	市民ク	新政	公明	友愛	共産	無所属	無会派
議案第 9 号議案	上尾市歯科口腔保健の推進に関する条例の制定について	継続審査							
議案第 10 号議案	再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 11 号議案	「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 12 号議案	将来的に原発に依存しないエネルギー政策の実行を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 13 号議案	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を国に求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 14 号議案	国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書	原案否決	×	○	×	×	○	○	×
議案第 15 号議案	「社会保障と税の一体改革」による消費税増税は行わないことを求める意見書	原案否決	×	×	×	×	○	○	×
議案第 16 号議案	埼玉県立小児医療センター移転に関し県に適切な対応を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

◎請願（4 件）

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

請願番号	件名	議決結果	市民ク	新政	公明	友愛	共産	無所属	無会派
請願第 5 号	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を国に働きかける意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○
請願第 6 号	消費税増税の反対に関する請願	不採択	×	×	×	×	○	○	×
請願第 7 号	消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	○	○	×
請願第 8 号	埼玉県立小児医療センターに関する意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○

※市民ク=上尾市民クラブ（8 人）、新政=新政クラブ（6 人）、公明=公明党上尾市議団（5 人）、友愛=友愛クラブ（3 人）、共産=日本共産党上尾市議会議員団（3 人）、無所属=無所属の会・市民の力（3 人）、無会派（2 人）

長崎市は、「土地開発公社の経営の健全化に関する計画」を策定、土地開発基金を活用し、公社保有の全公有地を取得、公社を解散する予定である。上尾市でも同様の課題を抱えており、検討が必要である。

佐賀市は、①分かりやすい ②市民とともに歩む ③市民の期待に応える ④すばやい ⑤むだがない—を行政改革基本方針とし、業務改善運動を実施している。上尾市でも「慣れ」や「サービス意識の低下」に陥らないよう定着・継続させる必要を感じた。

春日市の学童保育所は、保護者運営から公的な運営となった経緯が上尾市と似ているが、2回目の指定管理者の指定を公募とした点が異なる。学童保育所はすべてログハウスで、学校敷地内にある。また、学校・保護者・地域が一体となり取り組むコミュニティスクール制度は参考になった。



▲春日市議会事務局

総務常任委員会

日程 5月9日~11日

- 長崎県長崎市 土地開発公社の廃止について
- 佐賀県佐賀市 全庁的業務改善運動「元気UP!佐賀運動」について
- 福岡県春日市 NPO 法人による学童について

【参加議員】

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 長沢 純 | 井上 茂 | 大室 尚 |
| 前島 るり | 浦和 三郎 | 嶋田 一孝 |
| 清水 義憲 | 矢部 勝巳 | |

等視察報告

て、委員長報告より抜粋して報告します。行政視察は、行っている自治体を視察し、今後の上尾市の政策提言

【参加議員】

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 清水 義憲 | 町田 皇介 | 鈴木 茂 |
| 嶋田 一孝 | 深山 孝 | 長沢 純 |
| 道下 文男 | 井上 茂 | 秋山 もえ |
| 田中 守 | | |

幅広く対応し、市民の付託に的確に応えることを目指した議会の活性化を図るため、議会改革特別委員会を設置している。各党派から検討事項の提案を受け、協議を重ね、市民との意見交換会を開催した。短期間で集中的に協議を行い、計画的かつ効率的にスピード感をもって議会としての考え方や方向性を示している点は大変参考になった。

文教経済常任委員会

日程 5月7日~9日

- 愛知県東海市 産業振興ビジョンについて
- 三重県亀山市 新学習指導要領・授業の電子化について
- 静岡県静岡市 中小企業振興について

【参加議員】

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 箕輪 登 | 秋山かほる | 鈴木 茂 |
| 平田 通子 | 道下 文男 | 岡田 武雄 |

積極的なICTの活用を進めており、さらに効果的な取り組みに期待したい。

静岡市では、産業振興プランを平成17年に策定、平成22年には後期計画を策定している。積極的に企業、人材の育成を支援しており、上尾市の中小企業支援、産業振興ビジョン策定に参考になった。



▲亀山市議会事務局

高松丸亀町商店街は、①民間主体、全員同意型の再開発 ②定期借地権により土地所有者の権利を保全 ③所有権と利用権とを分離 ④商店街の階上に集合住宅を整備 ⑤診療所を併設し在宅医療の実現など再開発の計画・事業化一を行った。全国の商店街が苦戦する中、商店街振興組合の再開発を成功させる意気込みと活気が感じられた。

宝塚市は、平成23年4月から川西市、猪名川町との協議会方式による通信指令システムの共同運用を開始。共同運用により、市町間相互の災害情報の

共有化と迅速で的確な災害対応が可能となった。

神戸市は、安全・安心で快適な自転車利用環境と歩行環境の魅力的なまちづくりを目指し、自転車利用環境総合計画を本年7月を目途に策定している中、3月に整備された自転車レーンと平成22・23年度に社会実験が実施されたコミュニティサイクルの説明を受けた。



▲高松丸亀町商店街

建設水道消防常任委員会

日程 5月16日～18日

香川県高松市 高松丸亀町商店街再開発事業について

兵庫県宝塚市 高機能消防指令システムについて

兵庫県神戸市 神戸市自転車利用環境総合計画について

【参加議員】

渡辺 綱一 池野 耕司 野本 順一
田中 守 糟谷 珠紀

常任委員会

各常任委員会と議会運営委員会の行政視察について、各委員会の所管事項について先進的な取り組みを参考に生かすものです。

議会運営委員会

日程 4月19日・20日

岩手県花巻市 議会基本条例制定までの経過等について

宮城県大崎市 議会改革特別委員会の取り組みについて
(共通視察項目) 議会運営全般について

花巻市議会は、市民に開かれた議会、市民の意見を反映させる議会を目指し、平成22年6月に「花巻市議会基本条例」を制定した。検討を進める中で、市民の意見を反映させるためのパブリックコメントや市民との懇談会を実施し、基本条例制定後も、継続して議会改革に積極的に取り組んでいる。

大崎市議会は、地方自治体を取り巻く情勢に

福祉常任委員会

日程 5月14日～16日

長野県上田市 ひとまちげんき・健康プラザうえだについて

長野県岡谷市 防災対策の取り組みについて

長野県須坂市 健康づくりの取り組みについて

【参加議員】

田中元三郎 秋山 もえ 小川 明仁
星野 良行 斉藤 哲雄 深山 孝
町田 皇介 橋北 富雄

上田市の「健康プラザうえだ」は、中学校跡地に建設され、保健センター、子育て支援センター、発達相談センターを横断的に配置し、ワンストップで行政対応できる利便性の高い施設である。

岡谷市では、平成18年の豪雨による甚大な被害の教訓から防災対策に対する取り組みを始めた。災害時に行政情報を迅速・的確に伝達するため、防災無線を自動的に受信できる防災ラジオを市民に販売。情報が正確に伝わることから、販売後は迷い人の発見が大幅に短縮され、防災無線の聞きづ

らさ対策として有効であったとのことである。

須坂市は、全国で初めて「保健補導員制度」を導入し、市民の健康意識も高く、介護保険認定は県下で一番低いとのこと、「市民の命を守ること」への使命感を強く感じた。



▲健康プラザうえだ

市政に対する
一般質問

ここが問題
そこが
聞きたい
Q&A

6月定例会の一般質問は、6月13・14・15・18日の4日間行われ、17人の議員が登壇し、市政全般43項目にわたって市当局の見解を求めました。
また、4日間で262人の皆さんが議会を傍聴しました。
一般質問の主な内容は次のとおりです。(各議員の一般質問の中から1項目のみを掲載しました)

◆都市整備



無所属の会・市民の力
斉藤 哲雄

市民球場・多目的広場の
利用状況は

問 上尾市では、生涯スポーツの振興により市民のスポーツへの参加が著しい反面、スポーツ広場・施設不足のため、市民の期待に応えられていない。上尾市民球場は、貸出条件、使用料金などの理由から利用が少ないと聞く。また多目的広場は、生涯学習にのっとった地域スポーツ施設として整備すると聞いていたが、それぞれの施設の利用についてを伺いたい。

答 上尾市民球場は、観るスポーツを通し、スポーツ水準の向上を目的に、公式競技に対応した硬式



上平公園多目的広場

野球場として整備された。天候不良時を除く利用割合は約7割で、野球場として高い利用率となっている。また多目的広場は、市民が自由に訪れて遊べる場所、ウォーミングアップ用グラウンドとして整備し、年間を通して利用が多く、平日の団体利用は9割を超えている。また高齢化と相まって、健康

の保持・増進のためのジョギングなど手軽で身近なスポーツに参加する市民が増えていることから、多目的広場を有効利用できるように市民ニーズに対応した柔軟性ある貸し出しを心掛けたい。

その他の質問

・上尾市所有物件の管理について



友愛クラブ
浦和 三郎

大谷北部第二土地区画整理
事業の進捗状況は

問 現在進められている大谷北部第二土地区画整理事業が一日でも早く完了し、整備計画の目標である多彩な人が織りなす暮らしの舞台となり、多世代が交流・連携し、快適で安心・安全な暮らしができる街づくりの達成を住民は願っている。そこで、事業の進捗状況と課題、対応について伺いたい。

答 本区画整理事業は、平成24年3月末時点での進捗率が55・5%、道路など公共施設の進捗率は45%、家屋移転の進捗率は79%と区画整理組合から報告を受けている。区画整理事業は権利者一人一人の同意がないと進められず、家屋移転の交渉が難航していること

や東日本大震災の影響による国からの補助金の減額が事業を進めるうえでの大きな課題となっている。市としても引き続き支援を行い、区画整理組合と協働で事業を推進していきたい。

その他の質問

・上尾親善大使の創設について

・青少年健全育成について



区画整理事業地内の新しい道路(今泉地内)



公明党上尾市議団
長沢 純

安心・安全な通学路の整備を

問 行田市では、6月議会に通学路安全対策を前倒しして実施する取り組みが提案され、東松山市では、



「ゾーン 30」により整備された道路（川口市内）

通学路へのガードレール設置、公園設備の修繕など、子どもの安全対策にかかる費用を寄附してもらった。「子ども安心安全基金」を設立した。また警察庁、国土交通省は、具体的な交通安全対策事例を発表し、一定の区間を時速 30 km 制限とする「ゾーン 30」など道路交通環境の整備を推進しているが、市の安全対策の取り組みを伺いたい。

答 市では、児童・生徒の安心・安全を第一に、学校や関係各課と連携、協議を進め、通学路の整備に取り組んでおり、行田市、東松山市の今後の推移と動向については注意していきたい。「ゾーン 30」は、事業として各地区の区長会に協力と呼び掛け、各小学校長に説

問 上尾道路の進捗状況や道の駅の実現性について伺いたい。また、上尾市のまちづくりの将来計画の観点から、上尾道路を有効に活用するためには、都市計画法による用途地域の見直しが必要と考えるが、市の見解を伺いたい。

答 上尾道路は、さいたま市西区宮前町から桶川市川田谷に至るⅠ期工区を、首都圏中央連絡自動車道の開通に合わせ平成 26 年以降の早い時期に開通させたいとのことである。市内の進捗状況は、小敷合、畔吉地区の一部を除き道路改良工事に着手しており、領家地区では



上尾市民クラブ
嶋田 一孝

上尾道路の進捗状況は

明を行ったところであり、平成 24 年からの 5 年計画の中で推進していきたいと考えている。また、道路の塗装を凹凸があるように見せ、車を減速させる「イメージハンプ」の手法により大きな効果が出せるよう対策を進めたい。

〜その他の質問〜

- ・ 消防力の充実について
- ・ 地域活性化を高齢者と共に

問 元教師など一般の方を先生に、大分県豊後高田市では「学びの 21 世紀塾」を、さいたま市では「チャレンジスクール推進事業」を実施している。どちらも放課後や土曜日を活用して子どもたちに学習の機会を提供するための仕組みである。上尾市版のこのような仕組みについて市の見解を伺いたい。

問 地域の人に教わる学習会の実施を

答 元教師など一般の方を先生に、大分県豊後高田市では「学びの 21 世紀塾」を、さいたま市では「チャレンジスクール推進事業」を実施している。どちらも放課後や土曜日を活用して子どもたちに学習の機会を提供するための仕組みである。上尾市版のこのような仕組みについて市の見解を伺いたい。



上尾市民クラブ
鈴木 茂

◆教育

工事区間内の発掘調査が進められている。道の駅については、市内研究会を組織し、沿線の堤崎、小敷谷、領家地区をモデル地区として調査・研究を進め、領家地区が適地と位置付けられたところである。沿線の用途の見直しについては、税収の拡大や雇用創出、地域活性化の効果も期待できる産業立地や企業誘致を考慮し、用途の見直しを踏まえた土地利用を検討する必要があると考えている。

〜その他の質問〜

- ・ 荒川左岸河川敷について

答 市では、学校週 5 日制が本格的に始まった平成 14 年度から、レクリエーション活動を中心とした「アツピーわんぱくクラブ」などを実施した。しかし週 5 日制の定着に伴い、子どもたちの生活も変化し、参加者が減少したため、事業の見直しを行った。現在は土曜日や長期休業中に、公民館で体験型の講座を実施している。また基礎学力向上のため、各学校で補習学習を行っている。また長期休業中には寺子屋を開き、中学生が小学生の学習支援をしたり、学校応援団や地域の方が協力したりしている地域もある。このような取り組みの成果を検証し、上尾市版の仕組みができるか検討したい。

〜その他の質問〜

- ・ 子育て支援について
- ・ 浅間台地区側溝整備について

無所属の会・市民の力
井上 茂

新図書館本館の構想は

問 市長は、手狭になった図書館本館を利用しやすく、22 万都市にふさわしい図書館に建て替えることを公約に掲げているが、22 万都

市にふさわしい図書館とは、具体的にどのようなイメージを持っているのか。また、実現のめどについて伺いたい。

答 現在の図書館は開設から30年以上が経過し、手狭になっていくことから、新たに設置するものとしてマニフェストに掲げた。その基本的な理念は、誰もが本と出会う喜びを感じられる居心地の良い空間を持ち、暮らしに役立ち、市民の知りたいとする知的要求が満たされ、市民文化を創り出し、コミュニティの醸成にも寄与できる、市民により親しまれる図書館である。これらのことを踏まえて、時期、位置、交通の便などを含めてしっかりと検討していきたい。

〜その他の質問〜
・市民の足を確保するために



上尾市民クラブ
田中 元三郎

市内在住の音楽家による演奏会を

問 市内の芸術文化活動において、特に音楽関係の活動が少ないと思うが、市や教育委員会の後援の状況について伺いたい。

また、市内在住の優れた音楽家



市内音楽家によるコンサート (昨年の様子)

へ定期的な発表活動を働きかけることを求めるが、市の見解を伺いたい。

答 市と教育委員会では、市内の文化活動に対し、事業の趣旨に賛同し、援助を行う意を表するものとして後援を行っている。教育委員会は、平成23年度に音楽関係29件を含む73件の文化活動への後援を行った。市内在住の音楽家による定期演奏会については、一昨年から、地域振興公社が文化センターにてコンサートを実施しており、今年は11月17日に、バイオリン・ストの長尾春花さんによるオータムコンサートを企画している。今後、市にゆかりのある音楽家に出演していただき、音楽を身近に感

じ、いろいろな音楽を楽しめるよう関係機関との連携を図りながら自主事業を企画していきたいと考えている。

〜その他の質問〜
・学校や保育所等の安全について
・上尾市の産業振興について



友愛クラブ
町田 皇介

幅広い年代が参加する子ども議会を

問 上尾市で開催している子ども議会の参加対象は小学生であるが、普段、市政について考えたり、意見を表明したりする機会のない若年層から意見を聞く場を提供するためにも、市内の中学生、高校生、大学生、専門学生など幅広い年代の未成年者に参加してもらうことも必要であると考える。小学生だけでなく、参加の幅を広げることについて、市の考えを伺いたい。

答 中学、高校、大学、専門学校などから対象者を募ることは、年齢や学習環境の違いなどから提案の幅が広がり、非常に意義のあることである。しかし、中学生は生徒会や部活動、高校生、大学生は部活動やアルバイト、さらに最終

学年では進学準備や就職活動など自主的な活動が増えることや、学校の規模・組織の違いがあることなど課題が多い。今後、他市の状況を踏まえ、調査研究したい。

〜その他の質問〜
・道路行政について

◆福祉



公明党上尾市議団
前島 るり

高齢者へ肺炎球菌ワクチン接種費用の助成を

問 肺炎は、日本人の死亡原因の上位とされており、このうち高齢者は年間11万人が命を落としていく。成人用肺炎球菌ワクチンの接種費用について、現在、公費助成を行っている自治体はどのくらいあるのか。また、高齢者への同ワクチン接種費用の助成について市の見解を伺いたい。

答 各自治体における成人用肺炎球菌ワクチンの助成については、今年度中に助成を開始する市町村を合わせると県内で40市町村、全国では755市町村である。肺炎の罹患率や死亡率は、高齢になるに従い高い率となっているが、同

ワクチンの接種により重症化防止効果や死亡減少効果があると報告されている。高齢者の命を守る対策として、今後、他の任意の予防接種との優先順位や総合的な高齢者対策を考慮し、対象年齢、接種費用などを検討していきたいと考えている。

その他の質問

- ・「市民の足」を守る
- ・「子どもの生活と教育の環境」を守る



友愛クラブ

池野 耕司

保険給付費の削減対策は

問 過去4年間の国民健康保険税は、毎年平均で約50億円であるのに対し、保険給付費は約150億円と3倍になっている。少子高齢化の中で、保険税に対し保険給付費を低下させることは重要課題である。市で取り組んでいる削減対策について伺いたい。

答 市では、保険給付費の削減対策の一つとして、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の利用促進に取り組んでいる。これは後発医薬品が新薬より安価であることに着



ジェネリック医薬品希望カード

目し、その利用を促進して医療費を抑制することを目的とした事業で「ジェネリック医薬品希望カード」付きチラシの配布などを行ってきた。今後は、ジェネリックへの代替えが可能な医薬品を利用する被保険者に、その差額を知らせる「医薬品利用差額通知書」を県国民健康保険団体連合会の総合システムを利用し、9月から発送する予定である。今後も医療費負担抑制のため、「広報あけお」などで周知し、ジェネリック医薬品の普及を図っていきたい。

その他の質問

- ・積極的高齢社会について
- ・収納率の向上と収納サポートセンター



日本共産党

上尾市議会議員団

平田 通子

孤立死をなくすための対策は

問 今年になり、相次いで生活困窮によるとみられる孤立死が発見され、今、孤立死対策の強化が緊急に求められている。孤立死を防止するため、公共料金の滞納があるなど市民が生活困難になったと考えられる情報について、市の担当部署をはじめ、ガスや電気などのライフライン事業者との連携をどのようにとっているのか伺いたい。

答 市では、平成23年度に行った民生委員による延べ3万世帯以上の訪問調査の情報を基に、地域包括支援センターや庁内関係各課と連携を図り、課題の検討、情報の共有、必要な援助を行っている。また、区長会、民生委員、社会福祉協議会や新聞、郵便、ガスなどの事業者に対し、高齢者などに異変があった場合の市への連絡をお願いしている。

今後は、民間事業者に対し、生命・身体・財産の保護に必要がある場合には、個人情報保護の適用外になることの理解・促進を行い、

さらに孤立死の防止に努めたい。

その他の質問

- ・住宅などの耐震化の強化を
- ・子どもたちのすこやかな成長を守るために



公明党上尾市議団

道下 文男

障がい者に就労支援を

問 障害がある人が自立するためには、就労することが最も重要であると考える。障害者の雇用促進において、現在、アプセック（上尾地区ビジネスキャリア・エンジヨイサークル）が支援している中小企業に、障害者雇用のアプローチを依頼することを提案するが、市の見解を伺いたい。

答 障害者の就労支援を推進するに当たり、企業側の受け入れ体制の整備はとても重要である。中小企業の実情に熟知しているアプセックに、企業へ障害者雇用を働きかけてもらうことは有効と考える。また、県は今年度、生産技術や経験豊富なシニアと障害者就労施設をつなぎ、収益性のある授産事業へ転換することを目的とした「障害者就労施設・シニア世代連

「携事業」を新たに計画中であり、障害者就労施設を支援する団体としてアブセックが候補に挙がっている。市としても、授産工賃を上げるための経営指導だけでなく、中小企業への就労促進についても協力を依頼していきたい。

- ・ 健康推進について
- ・ 防災対策について



日本共産党
上尾市議会議員
秋山 もえ

小児医療センター存続の声を県に届けて

問 上尾市が属する医療圏は、3次救急救命がなく、小児2次救急体制も脆弱で、救急搬送の53%を県立小児医療センターなど他自治体に頼っている。障害や難病をもつ子どもは、風邪さえも地域の診療所では診てもらえず、県立小児医療センターの果たしている役割はかけがえのないものである。

同センターの現在地存続を求める約2万筆の署名が市長に寄せられたが、この声をどのよう

見解を伺いたい。

答 多くの署名が提出されたことは真摯に受け止めている。しかし県が患者家族への個別調査など必要な手続きを進めると聞いており、現在の状況では、県に直接、署名を届けることは適切でないと考えている。また同センターを利用している方々には、移転に際し、個別に要望があることを認識しているが、県が一定の機能を現在の場所に残す検討を行っている現状もあり、直接、患者家族と会うことは控えたいと考えている。

◆ 環境・産業



新政クラブ
深山 孝

旧タイプ使い捨てライター の回収を

国の安全基準に適合しない使い捨てライターが平成23年9月から販売禁止となったが、相当数の古いタイプの使い捨てライターが各家庭に残っていると推測される。子どもが火遊びをして亡くなる

ニュースを耳にし、非常に心が痛む。埼玉県内ではあまり実施されていないが、関西地方の自治体では、回収ボックスを設置するところも増えている。そこで、蛍光灯や乾電池の処分のように、本庁舎や各支所に設置した回収ボックスで処分できれば、回収率も飛躍的に伸び、起こらなくてもよい火災や尊い人命も失われずに済むと考えるが、市の見解を伺いたい。

答 使い捨てライターは、市内に大量に流通し、扱い方によっては大変危険である。市民の安心・安全と処理の利便性向上の観点から、市役所、各支所など市民が利用しやすい場所での設置を前提に協議・調整を行い、廃乾電池などと同様の分解せずそのまま回収できる専用の回収ボックスを設置する方向で検討したいと考えている。



無所属の会・
市民の力
秋山 かほる

放射線に対する市の見識は

問 医者を講師に迎え、原発事故に対する講演を企画した団体が、市に後援の依頼をしたところ「特定の主義主張の浸透を図ることを

採択された請願

市議会に提出された請願は、委員会審査を経て6月22日の本会議で採決し、2件を採択しました。

建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願

代表者 埼玉土建一般労働組合上尾伊奈支部
支部長 嶋村 和利 氏

埼玉県立小児医療センターに関する意見書の提出を求める請願

代表者 佐々木 幹 氏 他5名

目的とする事業」に該当するとの理由で承認されなかった。低線量の放射線の影響については専門家の間でもホルミシス(※)効果や、低線量における影響などについてさまざまに見解があるが、後援を承認しないのは、市がホルミシス効果や人工放射線に閾値(※)があるという見識を持つているということか伺いたい。また、どのような見識に基づいて、放射線から子どもを守ろうと考えているのか伺いたい。

問 公共交通の安定的な運行は、地域住民の福祉、医療、教育などさまざまな施策の機能を効果的に発揮させるために必要不可欠な役割を担う。市民の足の確保は、あらゆる人々が生き生きと社会的、個人的に活動を展開できるための前提条件であり、交通弱者の問題を考えることはまちづくりそのも

交通弱者をなくすために「ぐるっとくん」の活用を



日本共産党
上尾市議会議員団
糟谷 珠紀

答 医学界における人工放射線にホルミシス効果や閾値などないとの見解を否定するものではない。市としては、空間放射線量や給食食材の放射性物質の測定などを行い、国が示している基準に基づき必要な対策を講じ、子どもたちを放射線の影響から守っている。
 ※ホルミシス：有害となる量に達しない量を用いることで有益な刺激をもたらされること。
 ※閾値：それより低ければ生物に影響がないとされる量。
 ～その他の質問～
 ・市の施設を指定管理者に管理させる事について



市内循環バス「ぐるっとくん」

のである。今年の秋に行う予定のダイヤ改正とルート変更の基本的な考え方、公共交通施策の推進のための公共交通基本計画策定の進捗状況を伺いたい。
答 ぐるっとくんは、前回のダイヤ改正、ルート変更から2年半が経過しているが、この間に多くの要望を受けている。秋の改正については、要望にできるだけ対応するよう取り組み、つつじ苑に隣接する瓦葺コミュニティ施設への乗り入れなど、これまで以上に利用者の利便性を向上するよう見直す。公共交通体系整備のため、総合交通基本計画の策定を行う。
 ～その他の質問～
 ・ごみ処理の現状と課題

◆行財政一般



新政クラブ
星野 良行

市民に素晴らしいピアノの音色を

問 「上尾では発表会をやらない」「ピアノがよくないから上尾には著明なピアニストは来ない」などと、数年前から文化センターのピアノについての声を聞く。文化センターのグランドピアノの利用状況、保管、メンテナンスについて伺いたい。また、市内の子どもたちや市民に素晴らしいピアノの音色を聞かせたいと思うが、市の見解を伺

いたい。
答 昨年度のピアノの利用は、大ホールと中ホールで32回、小ホールで47回であった。保管は丈の長いピアノカバーを掛け、中に除湿器を入れ、湿度を一定に保つよう維持管理に努めており、メンテナンスは年2回の保守点検と調律点検を行っている。上尾の地で素晴らしいプロの演奏を行うには、ピアノもそれに合ったものでなければいけない。市の文化芸術を高め、賑わいを創出する意味でも十分に検討させていただきたい。
 ～その他の質問～
 ・上尾伊奈斎場つつじ苑の利用状況について

今議会で決まった人事

固定資産評価審査委員会委員に
伊澤 愛子 氏

固定資産評価審査委員会委員 伊澤愛子氏の任期は平成24年7月6日で満了となるため、同氏を再び選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

人権擁護委員に
原田 隆弘 氏

人権擁護委員 原田隆弘氏の任期は平成24年9月30日で満了となるため、同氏を再び推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

人権擁護委員に
小川 久雄 氏

欠員中の人権擁護委員の候補者として小川久雄氏を推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。



9月定例会日程(案)

- 8月28日 開会
- 30日 質疑、委員会付託
- 31日 委員会
(総務、建設水道消防)
- 9月 3日 委員会
(文教経済、福祉)
- 5～7日,10・11日
一般質問
- 14日 閉会

委員会活動

H24.4.16→H24.7.15



▲上尾道路の現地調査(建設水道消防常任委員会) ▲文教経済常任委員会の様子(委員会)

***次回の9月定例会は、8月28日に開会の予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、8月22日(水)までとなります。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

なお、上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

上尾市議会HPアドレス
<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>

議会報編集委員会

- 委員長 鈴木 茂
- 副委員長 浦和 三郎
- 委員 小川 明仁
- 委員 星野 良行
- 委員 大室 尚
- 委員 前島 るり
- 委員 斉藤 哲雄
- 委員 秋山 もえ

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	5/9～11 6/8	・行政視察(長崎市、佐賀市、春日市) ・6月定例会提出議案4件、請願2件を審査
文教経済常任委員会	5/7～9 6/11	・行政視察(東海市、亀山市、静岡市) ・6月定例会提出議案4件を審査
建設水道消防常任委員会	5/16～18 6/8	・行政視察(高松市、宝塚市、神戸市) ・6月定例会提出議案2件を審査
福祉常任委員会	5/14～16 6/11 6/22 7/3	・行政視察(上田市、岡谷市、須坂市) ・6月定例会提出議案4件、請願2件を審査 ・継続審査中の議案1件を審査 ・継続審査中の議案1件を審査
議会運営委員会	4/19～20 随時	・行政視察(花巻市、大崎市) ・議会運営について協議(協議回数6回)
議会報編集委員会	4/18 6/22	・「あげお議会だよりNo159」の内容について協議 ・「あげお議会だよりNo160」の内容について協議

※行政視察の内容については、8・9ページをご覧ください。

—意見書5件を原案可決—

6月定例会最終日の6月22日、議員提出議案として意見書7件を提出し、5件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

- ◆再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書
提出先⇒内閣総理大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長
- ◆「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書
提出先⇒内閣総理大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長
- ◆将来的に原発に依存しないエネルギー政策の実行を求める意見書
提出先⇒内閣総理大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長
- ◆建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を国に求める意見書
提出先⇒内閣総理大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長
- ◆埼玉県立小児医療センター移転に関し県に適切な対応を求める意見書
提出先⇒埼玉県

「議会だより」は再生紙を使用しています